

取扱説明書

Bluetooth/TUNER DSP MAIN UNIT

FH-7600SC

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<https://jpn.pioneer/ja/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。






carrozzeria

安全上のご注意




(安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならぬ内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

MN-003-001

接続・取り付け

警告



禁止

DC24V車では使用しない

本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車で使用すると火災や故障の原因になります。



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。

警告



強制

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。

また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

＋と－経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

指定の部品を使用し、固定する

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

警告



強制

取り付け場所の汚れ(ごみ、ほこり、油)などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態(着着やねじのゆるみなど)を点検してください。

タブレットはハザードやエアコン等のコントロールスイッチの操作、警告ランプやインジケータの視認を妨げないように取り付ける

走行中の操作やランプの視認に支障があると交通事故の原因となります。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない

落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類は途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。



水ぬれ禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない

発煙や発火、故障の原因となります。

注意



強制

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

使用方法

警告



禁止

画面だけを見ながらの運転はしない

必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない

発煙、発火、感電の原因となります。

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない

ケガや車両の変形および故障の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

警告



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

ヒューズを交換するときは、規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する
事故の原因となります。

注意



禁止

本機は自動車用途以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

可動部やメディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。



接触禁止

スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となります。



注意



注意

車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する
ケガの原因となります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

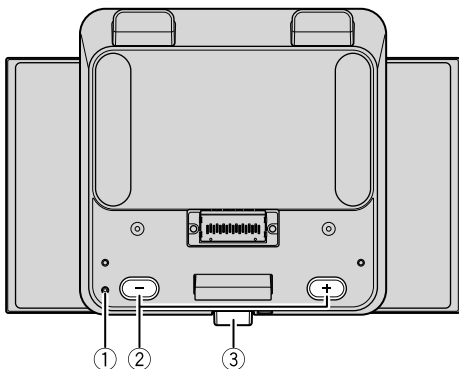
目次

各部の名称と機能	7
本体.....	7
接続／取り付け	8
接続／取り付け上のご注意.....	8
接続／取り付け部品を確認する.....	8
取り付けの前に知ってほしいこと.....	9
接続の前に知ってほしいこと.....	9
ハンズフリー用マイクの取り付け.....	11
接続する.....	12
システムの接続(1).....	12
システムの接続(2).....	13
本機のRCA出力に外部アンプを接続する場合.....	15
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(1).....	16
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(2).....	17
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(3).....	18
外部機器の接続.....	19
本体を取り付ける.....	20
ホルダーを取り付ける.....	21
タブレット(別売)をホルダーに取り付ける.....	23
タブレットをホルダーから取り外す.....	24
動作を確認する.....	25
タブレットをホルダーに固定する.....	25

付録	26
保証書とアフターサービス.....	26
保証書.....	26
保証期間.....	26
修理について.....	26
補修用性能部品の最低保有期間.....	26
ご質問、ご相談は.....	26
商標／著作権など.....	26
主な仕様.....	27

各部の名称と機能

本体



名称	機能
① リセットボタン	本機が正しく動作しない場合は先がとがったもので押し、本機をリセットしてください。
② + / - ボタン	+ : 音量を上げます - : 音量を下げます 車のエンジンをかけ通電すると、点灯します。
③ タブレット取り外しボタン	押し、タブレットを取り外します。

注意

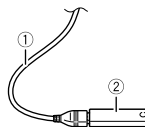
- タブレットを交換する場合(例えばタブレットが壊れたり、新しいタブレットに交換する場合など)は、+と-ボタンを同時に約5秒間押し設定をリセットしてください。

■ USB 機器を差し込む

1. USB 機器をUSB 延長ケーブルに差し込む



- USB 機器内の音楽やビデオは、ホルダーにタブレットを取り付けることによって再生できます。タブレットを取り外すと、音楽やビデオを再生できません。
- 接続するUSB 機器によっては、正しく動作しない場合があります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を本機に接続する際は、付属のUSB 延長ケーブル以外は使用しないでください。



① USB 延長ケーブル

② USB 機器

■ USB 機器を取り外す

1. USB 延長ケーブルからUSB 機器を取り外す

接続／取り付け

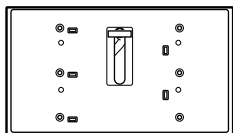
接続／取り付け上のご注意

- ・ 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・ 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

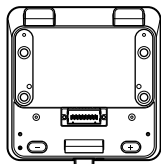
接続／取り付け部品を確認する

■ 本体関係

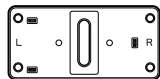
本体 × 1



ホルダー × 1



スペーサー × 2



クッション × 2



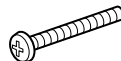
シート × 1



トラスネジ
(5 mm × 9 mm) × 6



ホルダー固定ネジ × 4



皿ネジ
(5 mm × 9 mm) × 6



固定ネジ × 1

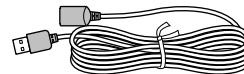


■ コード関係

電源コード × 1

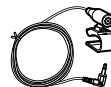


USB延長ケーブル × 1



■ マイク関係

ハンズフリー用マイク × 1



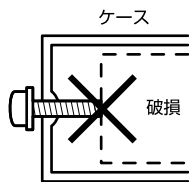
両面テープ
(15 mm × 12 mm) × 1



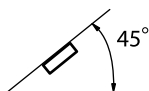
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

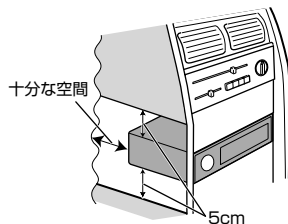
- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して45度以内の角度で取り付けてください。



- 取り付け時は、放熱をよくするために、機器の背面に十分な空間を確保してください。通風孔をふさぐことのないように、ケーブル類はまとめてください。



警告

- キャビネットのスロットと開口部は換気のために設けられています。本機の安定した動作を支えると同時に、過熱から本機を保護します。火災の危険を防ぐため、開口部をふさいだり、紙、フロアマット、布などで覆ったりしないでください。

■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

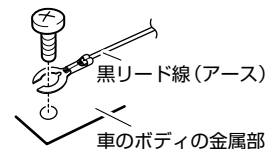
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線(アース)を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線(アクセサリ電源)は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。

- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの(一)リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線(アース)は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青/白リード線(アンテナコントロール)に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。ラジオは、タブレット接続後 Pioneer Smart Syncを利用して聞くことができます。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。(ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。)詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ コネクター着脱のポイント

- コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

■ バッテリー交換時のご注意

- 各機能の設定値は、車のイグニションスイッチをOFFにした時などに自動的に記憶され、バッテリーを外しても保持されます。

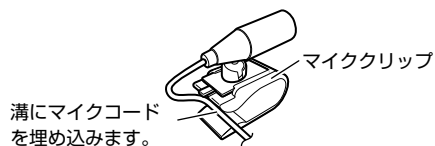
ハンズフリー用マイクの取り付け



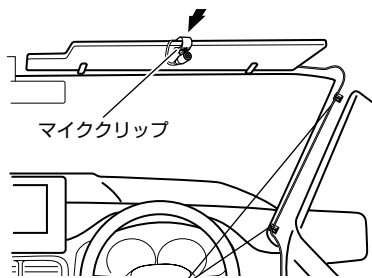
- 両面テープやクランパーを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。
- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに付けてください。また、エコー(反響音)を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

■ サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1. マイククリップにマイクコードを埋め込む



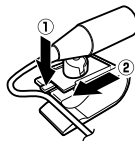
2. サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける



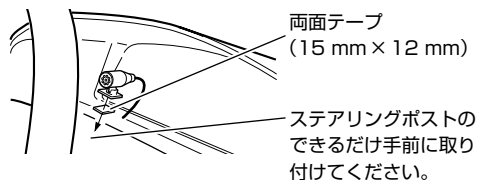
クランパー(市販品)で要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

■ ステアリングポストに取り付ける場合

1. マイククリップを取り外す



2. ステアリングポストにマイクを取り付ける



クランパー(市販品)で要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。



■ マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、下図のように矢印の方向に動かして調節します。

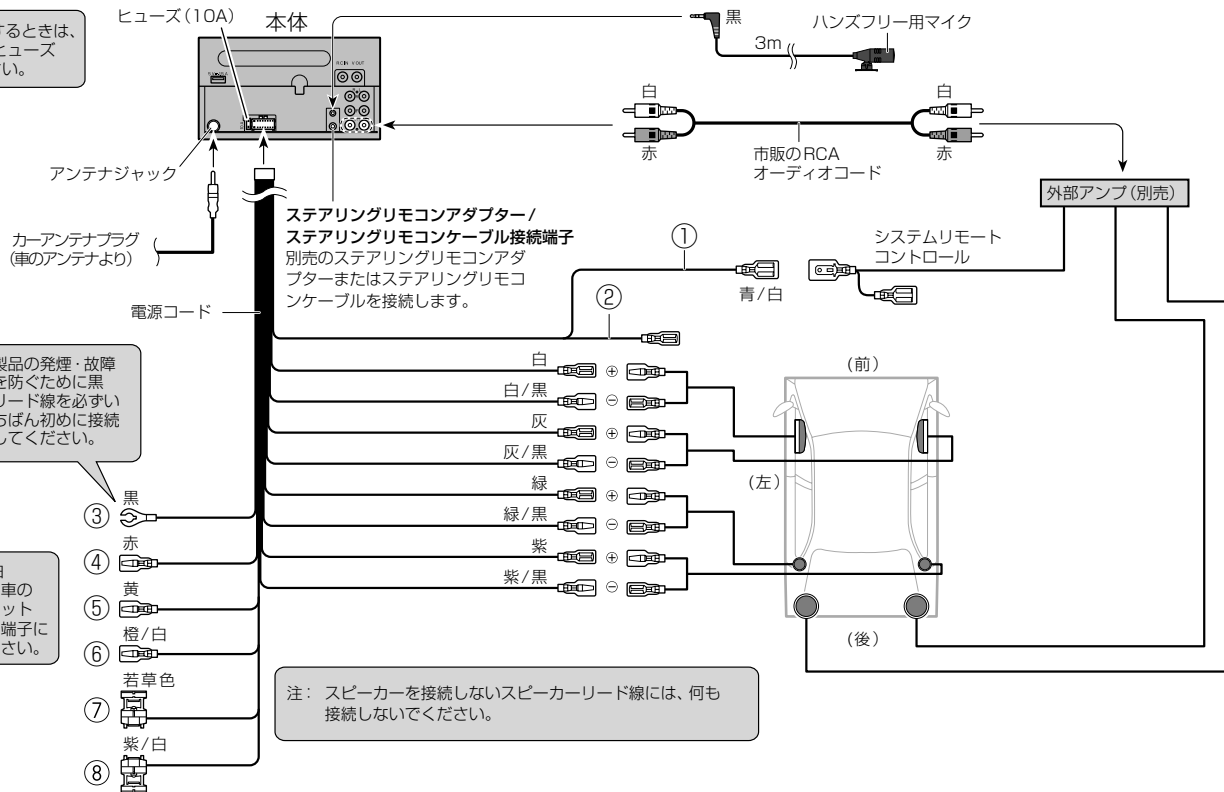


接続する

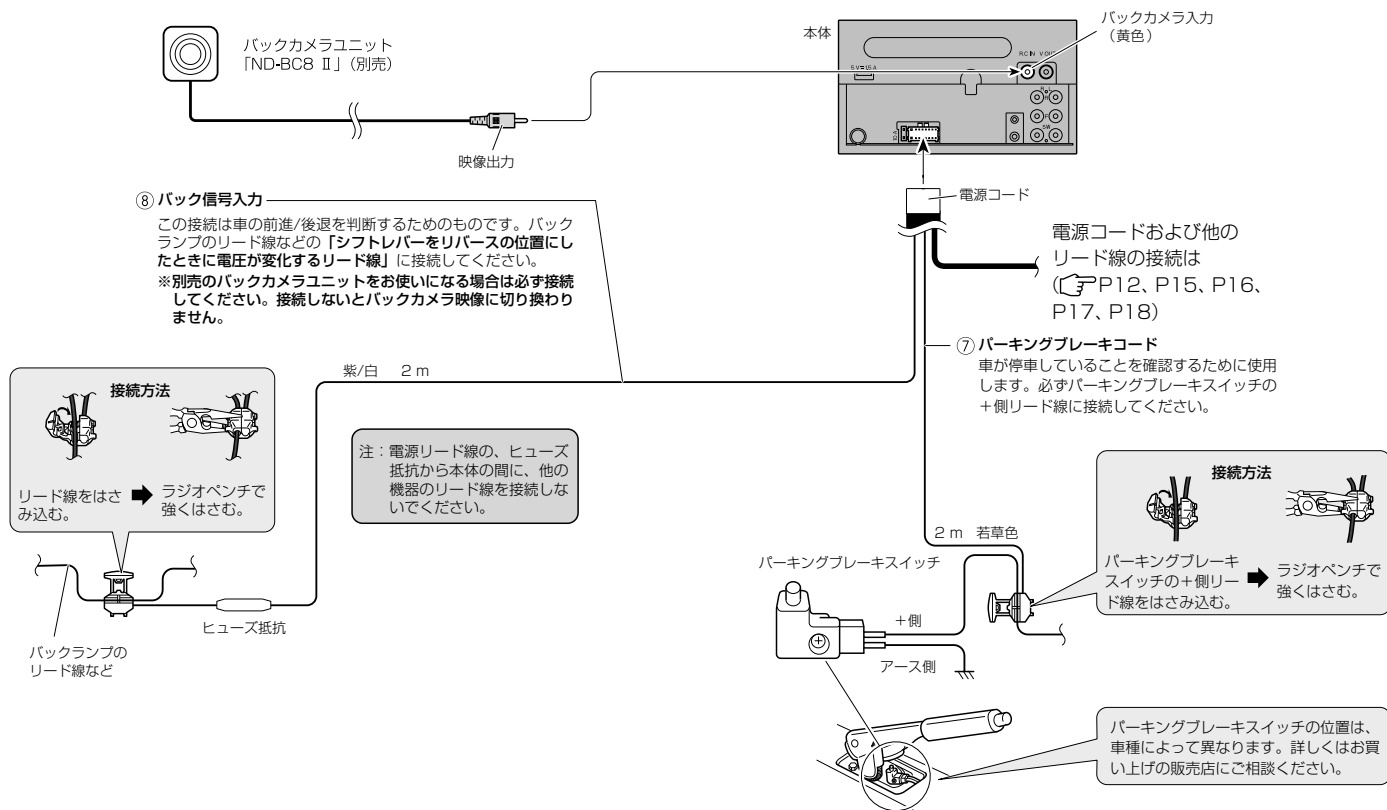
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

システムの接続(1)

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。



システムの接続(2)



① システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。
(12 V DC、300 mA 以内でご使用ください。)

② アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。
(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)
下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

● オートアンテナ車の場合：

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。

● ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：

車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

③ アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

④ アクセサリー電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

⑤ +バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

⑥ イルミネーション電源

スモールランプ点灯時に電源が供給される電源回路に接続してください。

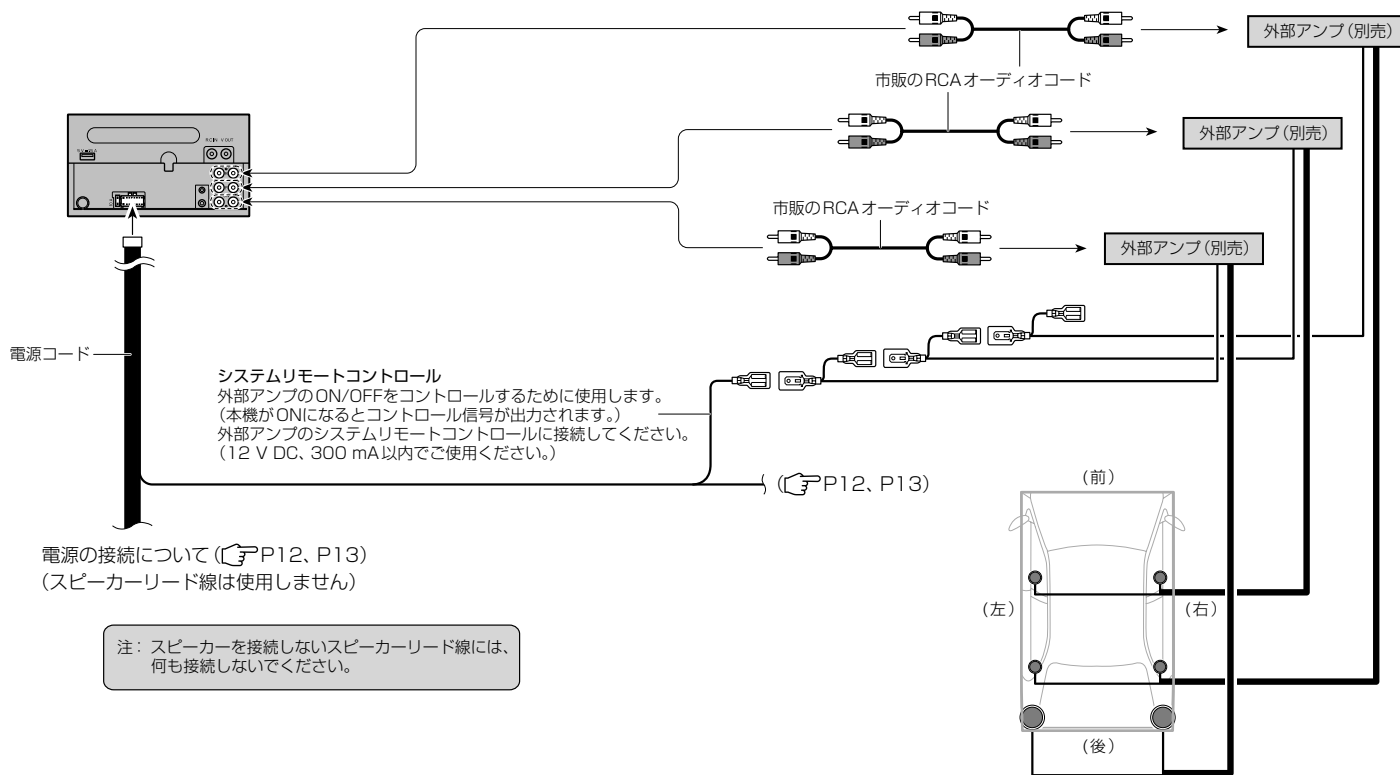
⑦ パーキングブレーキコード

車が停車していることを確認するために使用します。
必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

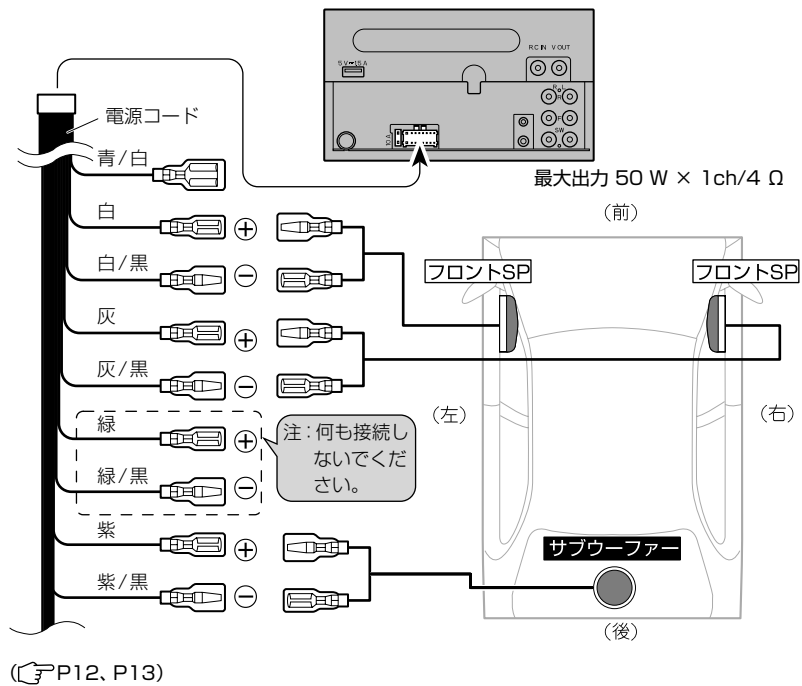
⑧ バック信号入力

この接続は車の前進/後退を判断するためのものです。
バックランプのリード線などの「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。
※ 別売のバックカメラユニットをお使いになる場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

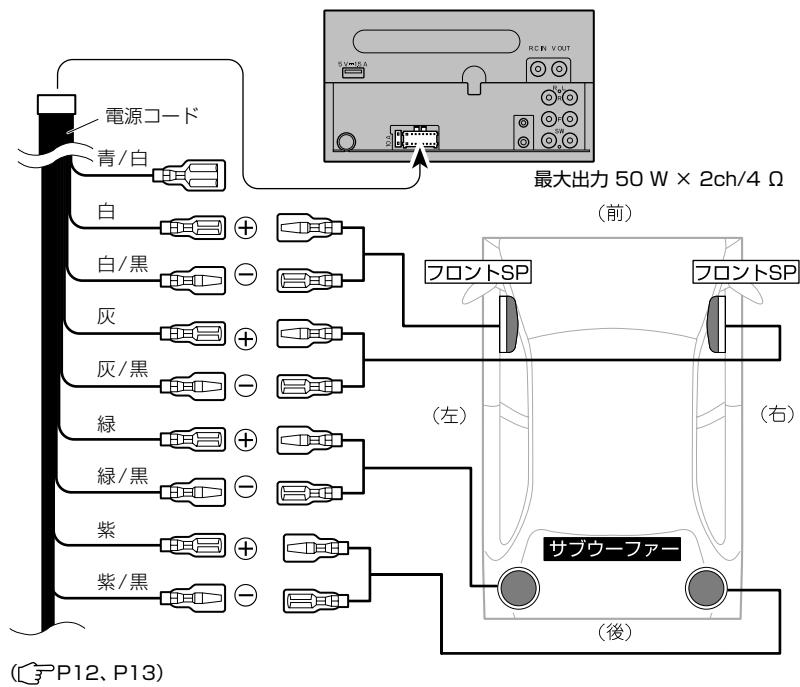
本機のRCA出力に外部アンプを接続する場合



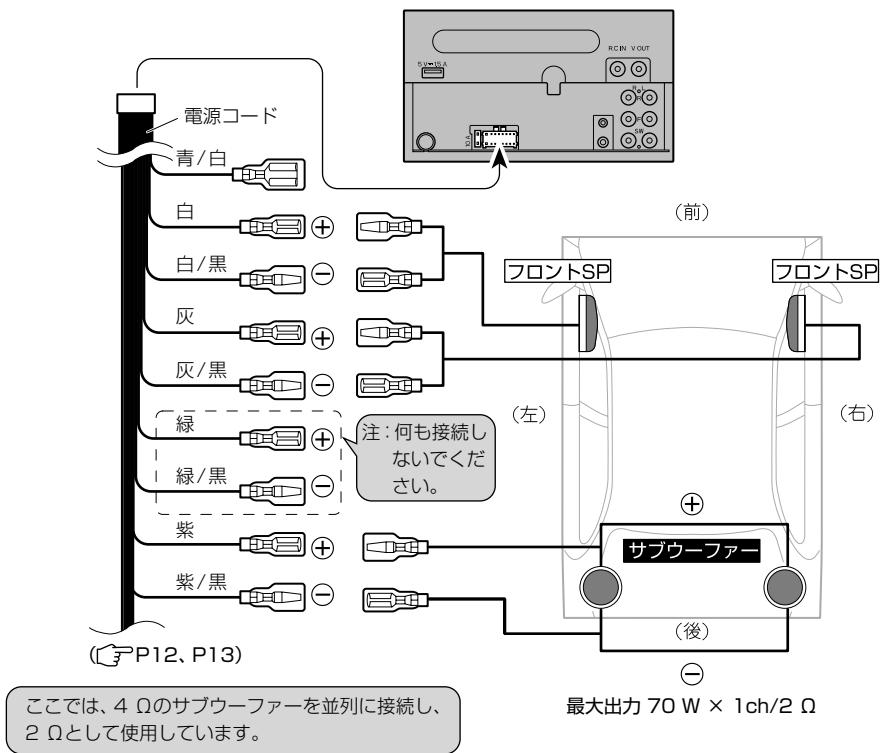
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(1)



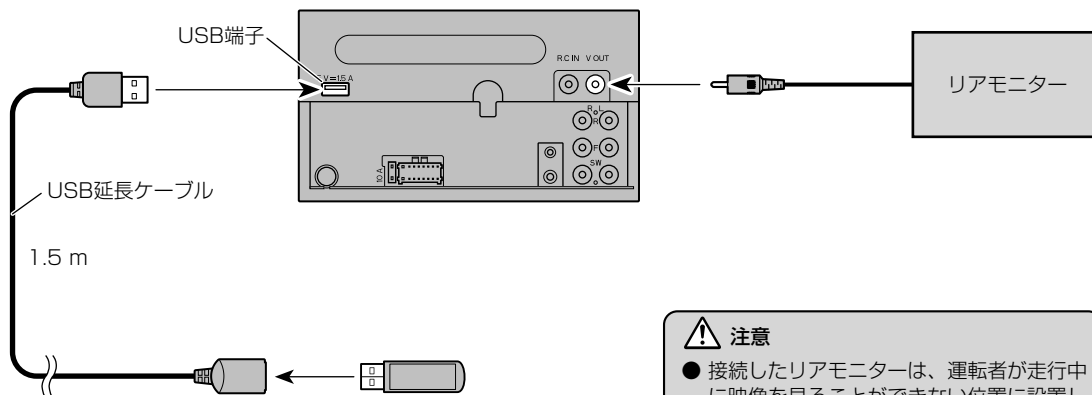
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (2)



本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)



外部機器の接続



⚠ 注意

- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。
- リアモニターにはタブレットにプリインストールされた動画再生アプリの映像のみ出力されます。



- USB 機器内の音楽やビデオは、ホルダーにタブレットを取り付けることによって再生できます。タブレットを取り外すと、音楽やビデオを再生できません。
- USB 機器内にはタブレット側で使用するフォルダ等が自動生成されます。
- USB 機器を取り外すときは、必ず事前にタブレット側の設定からストレージの設定を経由して、USB 機器の取り外しの操作を実施してください。実施されていないと、データの破損が発生する、またはデータの修復が必要になる可能性があります。

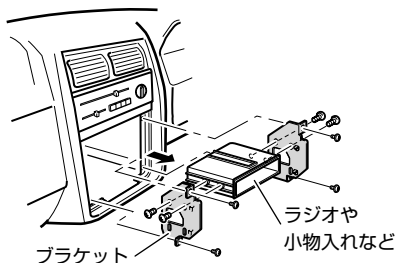
本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

1. 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

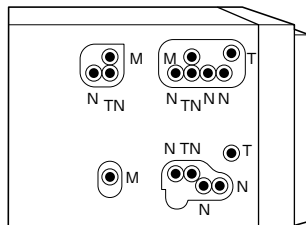
そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



・取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2. ネジ留めする位置を確認する

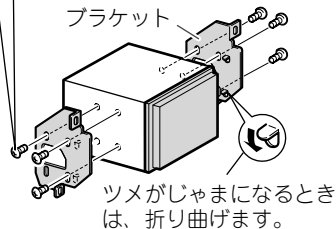
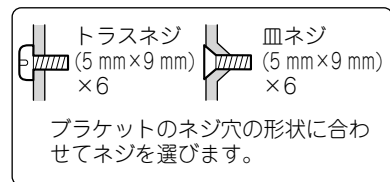
ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットにあうネジ穴を使用して取り付けてください。ネジ穴は下図を参照してください。



・車種によっては、ネジ穴をずらして取り付け位置を調整できます。

3. ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。

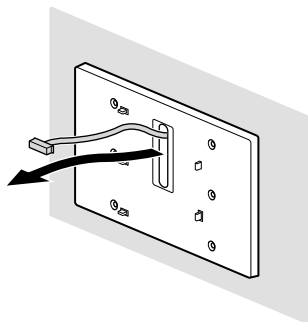


ホルダーを取り付ける

注意

- 車体に本機と車のインストルメントパネルを取り付けてから、ホルダーを取り付けてください。

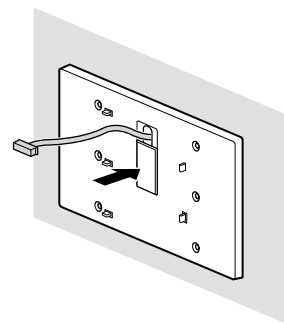
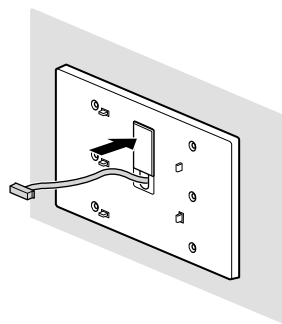
1. 本機のケーブルを手前に引き出す



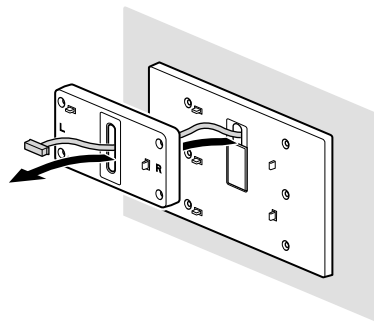
- ### 2. 本機にシートを貼り、穴をふさぐ
- 設置位置に応じて、上側・下側をふさいでください。

上側をふさぐ場合

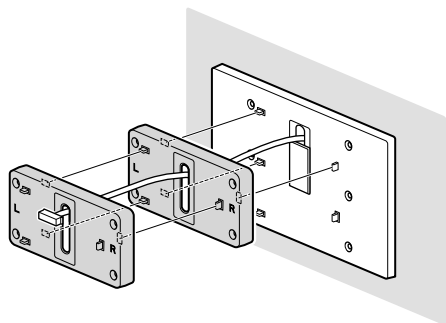
下側をふさぐ場合



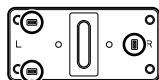
- ### 3. スペーサー中央部の穴にケーブルをとおす
- スペーサーは2枚あります。奥行に応じてスペーサーを追加してください。
- スペーサーを使用しない場合は、手順5に進んでください。



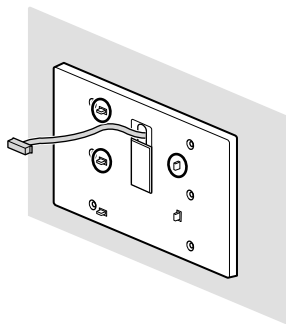
4. 本機のツメにスペーサー背面のミゾを合わせ、固定する（3カ所）
設置位置に応じて、上側・下側に固定してください。



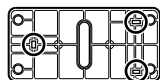
スペーサー表面



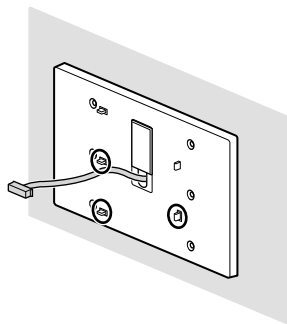
上側を固定する場合



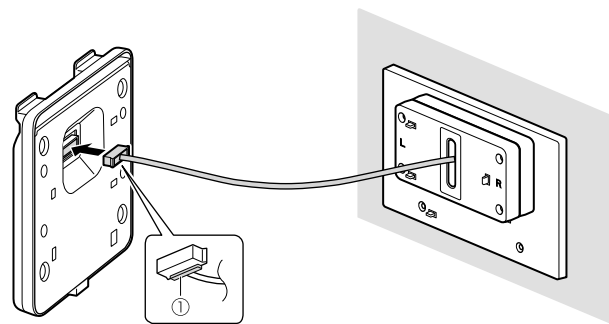
スペーサー裏面



下側を固定する場合



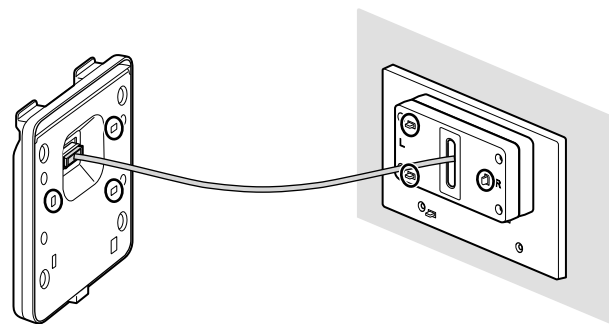
5. 本機のケーブルをホルダー裏側のコネクタに接続する



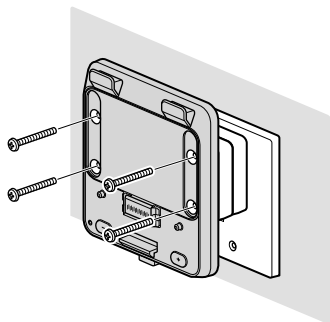
注意

- コネクタの突起形状 (①) のある面を下にして差し込んでください。上下逆さにして無理に差し込むと壊れることがあります。

6. 本機とホルダー背面のミゾを合わせ、伸ばしたケーブルを本機の中へ押し戻し固定する（3カ所）



7. 本機とホルダーをネジで固定する
付属のネジで、4カ所固定します。

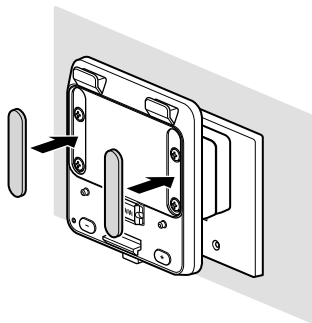


- ホルダー、スペーサー、本機のミゾを合わせると、ネジ穴の位置が合うようになっています。ネジがはまらない場合は、手順4に戻って固定しなおしてください。

8. クッションをホルダーに貼る

注意

- 凹み部分からクッションがはみ出さないように注意して貼り付けてください。

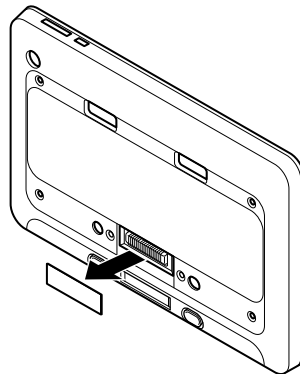


タブレット(別売)をホルダーに取り付ける

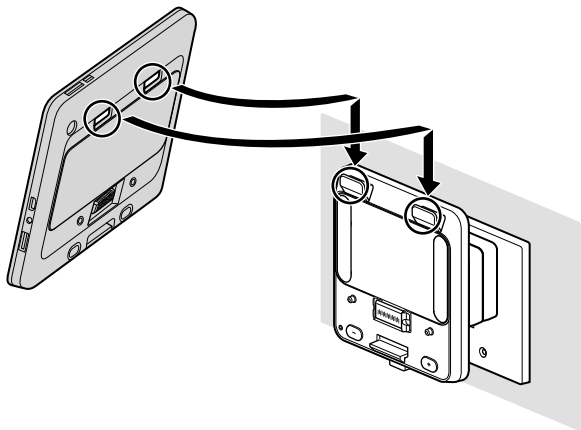


- USB機器内の音楽やビデオは、ホルダーにタブレットを取り付けることによって再生できます。タブレットを取り外すと、音楽やビデオを再生できません。

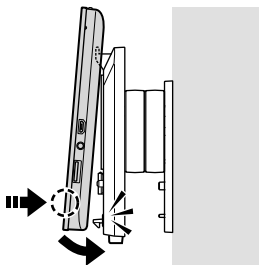
1. タブレットのデタッチコネクターカバーを外す



2. タブレットを両手で持ち、タブレット背面のミゾ(2カ所)をホルダーの上部のフックにひっかける

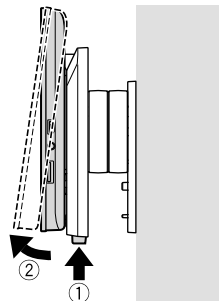


3. 「カチッ」と音がするまでタブレット下部を押し、タブレットをホルダーに確実に固定する



タブレットをホルダーから取り外す

1. ホルダー底部にあるボタンを押す
タブレットが下部のフックから外れます。
タブレットを落下させないように注意してください。



2. タブレットを上方向に取り外す

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1. 接続／取り付けをもう一度確認する



- 接続／取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているかも一度、目で見て確認してください。

2. タブレットをホルダーに取り付ける (☞ P23)

3. 車のエンジンをかける

4. 本機の動作を確認する



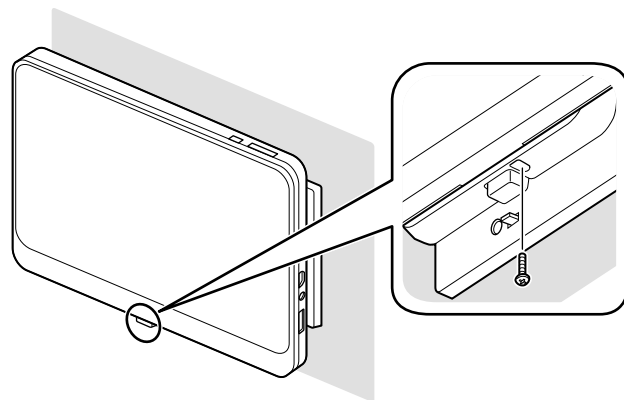
- 通電を確認しエンジンを切ってから、ホルダーの固定 (☞ P25) に進んでください。

タブレットをホルダーに固定する

タブレットを取り外す必要がないときは、付属の固定ネジでタブレットをホルダーに固定してお使いください。

1. タブレットをホルダーに取り付ける

タブレットをホルダーに取り付けた状態で、ホルダー底部にあるボタンの横にあるネジ穴に付属の固定ネジを取り付けます。



注意

- 固定ネジを外した場合は、なくさないように保管してください。

付録

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態で引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

■ 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理についてのご相談窓口」をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ 車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はバイオニカカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標／著作権など

■ 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備(WML-C95)を使用しています。

WML-C95



☎003-150114

■ Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

■ T-Kernel 2.0

This product uses the source code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum (www.tron.org).

主な仕様

■ 共通部

使用電源	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	10.0 A
外形寸法	
(取付寸法)	178 (W) mm × 100 (H) mm × 165 (D) mm
(ノーズ寸法)	171 (W) mm × 125 (H) mm × 25 (D) mm
質量	1.2 kg (コードユニット含まず)

■ オーディオ部

最大出力:

- 50 W × 4 ch / 4 Ω
- 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω
(サブウーファー使用時)

定格出力 22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 %
THD, 4 Ω LOAD, Both Channels Driven)

負荷インピーダンス 4 Ω
(4 Ω ~ 8 Ω (1 ch 時は 2 Ω) 使用可能)

プリアウト最大出力レベル 2.0 V

■ イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー)

周波数 50 Hz, 80 Hz, 125 Hz, 200 Hz, 315 Hz, 500 Hz,
800 Hz, 1.25 kHz, 2 kHz, 3.15 kHz, 5 kHz, 8 kHz, 12.5 kHz
調整幅 ± 12 dB

■ ハイパスフィルター

周波数 25 Hz, 31.5 Hz, 40 Hz, 50 Hz, 63 Hz, 80 Hz,
100 Hz, 125 Hz, 160 Hz, 200 Hz, 250 Hz
スロープ -6 dB/oct, -12 dB/oct, -18 dB/oct,
-24 dB/oct, OFF

■ サブウーファー/ローパスフィルター

周波数 25 Hz, 31.5 Hz, 40 Hz, 50 Hz, 63 Hz, 80 Hz,
100 Hz, 125 Hz, 160 Hz, 200 Hz, 250 Hz
スロープ -6 dB/oct, -12 dB/oct, -18 dB/oct, -24 dB/oct,
-30 dB/oct, -36 dB/oct, OFF
調整幅 -24 dB ~ +10 dB (1 dB/Step)
位相 NORMAL / REVERSE
スピーカーレベル -24 dB ~ +10 dB (1 dB/Step)
タイムアライメント 0 ~ 350 cm (2.5 cm/Step)

■ USB 部

USB 規格 USB 2.0 High Speed
最大供給電流 1.5 A
USB プロトコル MSC (Mass Storage Class)
ファイルシステム FAT12, FAT16, FAT32

■ FM チューナー部

受信周波数帯域 76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度 11 dBf (1.0 μV/75 Ω, モノラル, S/N: 30 dB)
S/N 65 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 0.003 (65 dBf 入力, 1 kHz, ステレオ)
0.001 (65 dBf 入力, 1 kHz, モノラル)

周波数特性	30 Hz ~ 15 000 Hz (±3 dB)
ステレオセパレーション	45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度	25 μ V (S/N: 20 dB)
S/N	60 dB (IHF-A ネットワーク)

■ Bluetooth部

Bluetoothバージョン	Bluetooth 4.0 certified
出力	最大+4 dBm (Power class 2)
周波数帯域	2 400 MHz ~ 2 483.5 MHz
Bluetooth プロファイル	GAP (Generic Access Profile)
	SDAP (Service Discovery Application Profile)
	HFP (Hands Free Profile) 1.6
	PBAP (Phone Book Access Profile)
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
	AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) 1.5
	SPP (Serial Port Profile) 1.1

■ ビデオ部

ビデオ入力形式	NTSC、PAL
入力レベル	1.0 V p-p/75 Ω (±0.2 V)
ビデオ出力形式	NTSC
出力レベル	1.0 V p-p/75 Ω (±0.2 V)

■ 付属品

コードユニット	1
USB延長ケーブル	1
ハンズフリー用マイク	1 式
取付ネジ類	1 式

取扱説明書	1
保証書	1



- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

操作についてお問い合わせいただく場合は、本紙を一度ご覧ください。

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話	(カーオーディオ/カーナビゲーション商品)		
	【固定電話から】	0120-944-111 (無料)	
	【携帯電話・PHSから】	0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)	
		上記の電話番号がご利用いただけない場合	
		050-3820-7540 (IP電話・有料)	

■ファックス	0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)
■インターネットホームページ	https://jpn.pioneer/ja/support/
	※ 商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、本紙を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話	【固定電話から】	0120-5-81028 (無料)	
	【携帯電話・PHSから】	0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)	
		上記の電話番号がご利用いただけない場合	
		050-3820-7550 (IP電話・有料)	

■ファックス	0120-5-81029 (無料)
■インターネットホームページ	https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/
	※ インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

●部品 (付属品、取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話	【固定電話から】	0120-5-81095 (無料)	
	【携帯電話・PHSから】	0570-057-140 (ナビダイヤル・有料)	
		上記の電話番号がご利用いただけない場合	
		050-3820-7551 (IP電話・有料)	

■ファックス	0120-5-81096 (無料)
■インターネットホームページ	https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/flow/
	※ FAX でご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.09

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2019

<CRA5303-B>